

東京都江戸東京博物館 調査報告書 第32集

隅田川流域を考える —歴史と文化—

2017年3月

東京都江戸東京博物館

【表紙図版】

東都金龍山浅草寺図

魚屋北溪画 江戸後期

江戸東京博物館所蔵 資料番号97200437

筑波山と隅田川を背景に、駒形堂から参道を経て奥山を含む境内にいたる浅草寺の全貌とその周辺にあった浅草寺領の門前町までを描き込んだ鳥瞰図。制作年代未詳。文政10年（1827）の浅草寺観音1200年の開帳に際して作成されたものか。絵師の北溪は、当初狩野惟信に学んで後に葛飾北斎の門人となり、蹄斎北馬と双璧をなした。狂歌絵本の挿絵、狂歌摺物を多く手がけた。